



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第72号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

おもな内容

予算委員会審議内容	2～4
地域の課題をとらえて一般質問	4～6
議案審議	6～7
総務文教常任委員会	8
産業厚生常任委員会	9
サークル紹介	9
編集にあたって	9

第1回 幌延町議会

3月11日
～3月13日

幌延町定例議会が3月11日～3月13日まで開催され、報告1件、承認1件、同意1件、議案1号、議案29号、及び平成25年度予算までのすべての審議を、全員賛成で可決した。また、意見案3件もすべて可決・決定した。

審査内容

(抜粋記載)

◆総務費◆

佐々木委員

景観整備事業で、町の施設解体対象物はどこか。

藤田会計課主幹

雄興集会所の体育館、問寒別職員住宅一戸、問寒別生涯学習センター周辺の倉庫など。

高橋委員

エネルギー関

総額 **54億6,039万9千円**

一般会計 **43億5,300万0千円**

齊賀弘孝氏を予算特別委員長に選任し、平成25年3月12～13日の審査の結果、原案通り可決

連施設見学会予算の増額理由は。

飯田総務課主幹

平成25年度は小学生対象に道内施設見学と、中学生対象に道外施設見学の2回を予定。

◆民生費◆

西澤委員

ホームヘルプサービス支援事業での総収入内訳と、障害者福祉費の一般相談支援事業の委託先の変更理由は。

村上町民課主査

ホームヘルプサービス事業収入は約千5百70万円で、社会福祉協議会での収入見込み額は約9百万円程度となっている。障害福祉関係の一般相談支援事業は、平成24年度は宗谷圏域の総合相談支援センターに業務委託をしていたが、平成25年度からは幌延福祉会の北星園で事業所指定を受ける予定で、町内の身近な事業所で迅速な対応をしてゆく。

高橋委員

冬期生活支援事業は昨年度より灯油価格が円安の影響で約2割ほど値上がりしている。灯油購入助成費予算が前年同額の百80万円ではいいのか。

藤井町民課主幹

冬の生活支援事業は5年間の継続事業で平成24年度より実施しており、定額制で推移していくことで理解頂きたい。

◆衛生費◆

西澤委員

保健推進費での運動習慣定着化事業の平成24年度実績と、本年度の事業内容は。

細野保健センター所長

平成24年度の運動習慣定着事業は太極拳を2ヶ所で計8回実施。約百名弱の方が参加した。

今年度は、健美操というもの、昨年同様の回数で予定企画している。

健美操とは、運動をしながら身体のツボを刺激すること、内蔵を調整し、心を穏やかに整える体操です。歩くのが大変になった高齢の方から、歩行姿勢が気になる若い方まで幅広い年齢層の方の学習機会になると考える。

植村委員

西天北五町衛生施設組合での埋め立処分場のかさ上げ延命化の内容と今後の計画は。

鈴木町民課長

現在使用

している埋め立処分施設を10%程度かさ上げし、平成29年までの使用期限をさらに2、3年延長したい。平成25年度で中長期的な計画を策定すると聞いている。

鷺見委員 町立病院のPCB廃棄物処理事業8百11万円の内容は。

岩川診療所事務長 旧町立病院で使用していた蛍光灯安定器に含まれるPCB廃棄物で、国が定める特別措置法に基づき処理することが義務付けられており、専門業者へ委託し、室蘭市の処理施設へ搬入される。

◆農林水産業費◆

植村委員 鳥獣駆除対策事業での駆除計画は。

羽田経済課主査 カラス2百羽、キツネ50頭、鹿4百頭の予定。

高橋委員 有害駆除の対象外のアライグマ捕獲委託料を支出すべきではないか。

高田経済課長 アライグマは、狩猟法に基づく有害動物ではなく外来生物法での対象となり、町が捕獲かごを用意し農家の方々に無償で協力をお願いしている。

◆商工費◆

西澤委員 幌延町商工会地域振興事業のプレミアム商品券発行補助事業の増額継続とした理由は。

島田経済課主査 町民の方々に大変好評だったとの商工会からの集計結果を頂いており、平成25年度は実施規模を増額発行とした。

佐々木委員 幌延町・豊富町で行っている広域観光促進協議会の平成25年度の事業内容は。

島田経済課主査 3年間の継続事業で、昨年度作製したパンフレットをさらにグレードアップして増刷し、合同でPR活動を計画している。

◆土木費◆

西澤委員 名林公園の街灯増設計画があるが、LED照明を使用するのか。

渡部経済課主幹 増設する街灯はLED照明を使用。

◆消防費◆

植村委員 平成25年度の防災事業の考え方は。

宮古総務課主幹 自主防災組織と協力して、出前講座や冬場の防災訓練などを

予定。防災関係備品の確保は、業者の協力を得るための協定を結ぶなどソフト面の充実を図っていく。

◆歳入一般◆

西澤委員 法人税収入を前年度より減収とした根拠は。

早坂会計課主査 平成24年度の法人税実績を基に算出されることと、法人税率の改正の影響で平成25年度は厳しい予算設定になった。

佐々木委員 不動産売却収入で、以前宅地分譲した土地は完売されたのか。

藤田会計課主幹 町有地の宅地分譲は、ホームペー

ジ等々で募集するも一区画が売れ残っている。

植村委員 禁煙等々が進んでいる中で、たばこ税が増額された理由は。

早坂会計課主査 昨年度の税制改正に伴い、道たばこ税の一部を町たばこ税に税源移譲されたため。

◆総括◆

佐々木委員 新規就農支援条例が制定されたが、その財源確保のための基金を創設すべきでは。

高田経済課長 この条例に関する財源は5年間で最大2億4千万円程度と想定。現在は一般財源からの支出で年間5千万円程度と考えている。

西澤委員 エネルギー関連見学会に合わせて、防災意識の観点から直接被災地を見ることができないのか。

飯田総務課主幹 エネルギー関連見学会は電源三法交付金で実施される事業なので、被災地の視察は目的外となり、町費との案分も難しい。

鷺見委員 ふるさと創生資金をはじめとする町の基金が近年増額している。これらの基金の利用計画はあるのか。

宮本町長 今後、酪農支援など多額な補助も考えられるが、基金は本当に困ったときに使っていく。

無量谷委員 ふるさと創生基金は条例上、現行の農業支援はできないのか。

瀬戸会計課長 この基金は飽くまで民間団体や個人が、まちづくりのために事業等々を起こした場合に補

助の対象となり、既存の事業支援は該当しないと認識している。

野々村委員 町の防災組織には、その事例によって様々な災害対策本部が作られているが、これらの一本化を図れないものか。

宮古総務課主幹 確かに縦割になっている。過去に危機管理マニュアル的なものがあつたが、現在の体制に合っているか、精査する。

野々村委員 町立診療所を中核とした予防検診、予防診療、予防接種という町民福祉体制がとれないか。

鈴木町民課長 予防接種などの関係は町立診療所指定としているが、健康診断等は診療所とは別の機関へ



防災訓練

委託実施している。

岩川診療所事務長 現在実施している総合健診を細分化した、オプション検診などプッチ検診ができないか内部で検討中。

特別会計

診療所特別会計

◆総括◆

植村委員 看護師の確保の状況と、予算の減額要因は。

岩川診療所事務長 新規採用2名分を予算計上している。ハローワークに申込みをしているが、町内にいる潜在看護婦の復帰に期待している。減額の要因は、燃料代や修繕費等の経費削減



町道バリアフリー

減を見込めるため。

国民健康保険特別会計

◆歳入◆

吉原委員 一般被保険者の滞納繰越見込みが1千万円を超えているが。

瀬戸会計課長 町外に転出された方が相当数いる。

町外徴収もしているが、なかなか成果が見えてこない状況にある。今後、徴収専門員のなものが1つの検討課題になっていくと思う。

介護保険特別会計

◆総括◆

西澤委員 次期計画の保険料も高い水準のまま下がらないのではないか。

鈴木町民課長 今のまま推移すると、現在の水準がそれ以上になると予想している。

西澤委員 社会福祉協議会が行っている在宅サービスの、種類を増やす等の対策が必要ではないか。

鈴木町民課長 社会福祉協議会には、更にサービスの拡充・強化を要望している。人員確保等の課題があるが、事業者の方も前向きに検討している。

地域の課題をとらえて

3氏が一般質問



見悟 鷲

地層研のトラブルについて

質問 地下施設の湧水量の増加についてどう考えるか。

町長 湧水量の増加は起こりうること。

質問 情報公開の改善についてどう考えるか。

町長 原子力機構が積極的に情報提供すべきと考える。町民の生活や環境などに影響を及ぼす事故や重大なトラブルの場合は、町として積極的に情報提供を行っていく。

質問 近隣町村などの住民団体などから住民説明会などの開催要請がある時は、

どう考えるか。

町長 その町村の自治体を通して要請されれば説明会を開催すると思う。住民の方々からの直接の要請に応じていくことも検討すべきと考える。

質問 北海道新聞が報道していたが、直接処分研究費として文科省3億円、資源エネルギー庁3億円の合計6億円。それを5年間実施すると書いてあるが、町長はどのような説明を受けているのか。

町長 何も説明は受けていない。

ない。

質問 非公式でも、話は一切聞いていないってことか。

町長 一切聞いていない。仮にそのような話が来たら、議会に報告するし、説明をしたい。三者協定の当事者である北海道や原子力機構にも協議をしたい。

質問 東日本大震災から2年目です。町としては防災ハザードマップなどが作られている。震災の教訓として日常的な避難場所の周知と訓練が必要とされているが、町の取組はどうか。

町長 平成22年に作成した防災マップ並びに平成23年に作成した中小河川流域大雨時危険区域マップに掲載し全戸配布した。昨年も10月に4つの自主防災組織の協力を得て、震度6の地震が発生したことを想定して訓練を実施した。

質問 防災マップの話が出たが、全道同じようなものを作っている。しかし震災前に作られている。更に見直しが必要となっていると思うが。特に冬場を想定した防災計画がないことも問

題だと思いが。

町長 平成25年度では、14町内会が参加する予定になっている。電気が、もし停電してしまったらということで、ポータブルストーブを用意している。

質問 どのくらい用意しているのか。

町長 ストープは15台。LEDランタンは問寒別に10個、幌延に20個。毛布50枚くらいを用意している。

質問 冬場の除雪については。

黒金総務課長 防災箇所は22カ所。各小中学校、生活センター。除雪については各町内会にお願いしている。大きな災害があった場合は、現実には小さな集会所に避難することは不可能と考えている。

質問 ポータブルストーブもあるが、天塩町の夕映などでは廃プラスチックを燃やしてお風呂を沸かす研究などもある。

町長 考える。検討したい。



西澤 裕之

子育て支援について

質問 就学前児童を持つ世代の支援ニーズをどのように捉え、どう町政に反映させていくのか。

町長 次世代育成支援地域行動計画策定時のアンケート調査では、保育所費用、安心できる医療体制、子供と過ごせる場所づくりが上

Q、保育所に入所できなかった世帯への対応は、人材を確保し、子育て支援を実施して行く直接処分の研究を誘致すべきと考えるが、断る必要があるか。

位を占めていた。

また、どう反映させて行くのかについては、保育所機能の開放、相談や交流場所の提供など、子供や保護者に対する支援を検討している。

質問 保育所に入所できなかった世帯にどう対応するか。

町長 本町で実現可能な事業展開ができないかを検討し、実施のための人員確保が可能であれば対応も可能と思っている。

質問 人材が確保できれば支援をしていくという考えで良いのか。

町長 1名確保できたというところで実施できると思う。

質問 子育て支援サークルの活動を行政が支援すること、子育て支援の充実が図られるとともに、2年後の子育て支援センターの運営につながっていくものと考えている。子育て支援事業を前倒しで実施できないか。

町長 子育て支援事業の実施は認定子ども園への運営につながっていくと、同様の認識をしている。町としても人員確保が必要と考え募集をしたが、採用には至っていない。再度募集を行っていきたいと考えている。

深地層研究センターの関連研究について

質問 直接処分の研究は3者協定の趣旨に違反するものではなく、幌延深地層研究センターに関連する研究

の1つであり、積極的に誘致すべきだと考えるが。

町長 考え方によっては協定に違反するという見方もあるし、違反しないという見方もある。そういう中で、仮に国等から直接処分の研究をという話があった場合には、議会に話をして議論をしていただきたいと思っている。また、3者協定の当事者である北海道や原子力機構とも、協議をしているかなければと思う。

質問 担当部署に予算付けをし誘致活動をすべきと提案をしたが、それが行われたのか。

町長 資源エネルギー庁及び文部科学省を訪問し、予算確保の要請とともに、本



斎賀 弘孝

Q、全国大会参加選手を、庁舎に垂れ幕で応援する気持ちはないのか。
QA、意見の分かれるところであるが、電灯需要家を契約者に再交付していく気持ちは納付金の再開検討したい

質問 共生型グループホーム建設を考究したのか。

町長 職員の確保が重要。運営にも多くの課題が予想されることから早急な建設



深地層研究センター

町での調査研究事業の展開を要請してきた。また、原環センターの研究発表会に参加し、調査研究事業に関する情報収集などを行った。

質問 直接処分にに関する情報収集もしていただきたい。

町長 情報収集をすることについては問題ないと認識している。できるだけ情報をつかんでいきたいと思う。

ない。福祉会などから要請があれば、積極的にしていかなければならないと思っている。

質問 幌延町環境基本条例制定の状況は。

町長 具体策をまとめるに至らない。

質問 「注文と配達のサービス」体系の構築状況は。

町長 費用対効果の面から現状では難しい。

質問 町長の頭の中では、どういう「注文と配達サービス」を考えていたのか。

町長 結局は人件費も出てこない。

質問 告知端末で動画配信を実施する考えはないのか。

町長 有効な手段だが、現在の各課の人員では難しい。

質問 町長は、告知端末の全道的な研究協議会に入っているが、派遣職員の聞いてきたこと、やりたい事を十分取り入れているのか。

町長 議員皆さんと喜茂別の方へ職員も勉強しに行った話も、一部始終は正直言って聞いていないが、工夫して町民にいろんな分野で情報発信している。

質問 なぜ、新年度、告知

端末のサーバーを増設しないのか。

町長 購入して間もない。安いものでないと聞いているので、状況を把握した中で決めていく問題。

質問 告知端末を幌延町らしい方向に向けてほしい。

町長 包括的に解決した中で、サーバー大容量ということを検討していきたい。

我々、行政としても費用対効果というのを考えながら利活用を考えて行きたい。

質問 電灯契約者の1戸あたり8千1百円、原子力立地給付金について先の委員会

で町側が8千1百円没収しているという委員発言に何も訂正削除が求められなかった事は、町も同じ考えであるという事である。

質問 深地層研修センターでの掘削中断で、住民・報道機関がこのように不安になることに、どう思われるか。

町長 状況のわからない方には不安が生じるのかと思う。地下のところでは湧水が普段よりも余計出たというだけで、危険がないという連絡で安心した。私も直接



第1回町議会(定例会)

議 案 審 議

▽報告第1号

専決処分報告について

豊富北インターチェンジ付近において公用車がスリップし、ガードレールを損傷させた。相手方との和解が成立。賠償額は19万1千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

千1百円で合意。

○各町内小中学校3校の32カ所のトイレを和式から洋式便座に変更、老朽化しているトイレの内装等の改修費を追加

○町道中間寒8号線道路改良事業の確定に伴う変更。

○新たに24年度事業で飲用水供給施設、問寒別地区道営畑総事業。平成25年度事業、町道問寒別9号線、町道問寒別20号線改良事業、問寒別小中学校体育館トイレ改修、個別排水処理施設整備4事業を追加。

○町道中間寒8号線道路改良事業の確定に伴う変更。

○新たに24年度事業で飲用水供給施設、問寒別地区道営畑総事業。平成25年度事業、町道問寒別9号線、町道問寒別20号線改良事業、問寒別小中学校体育館トイレ改修、個別排水処理施設整備4事業を追加。

○町道中間寒8号線道路改良事業の確定に伴う変更。

○新たに24年度事業で飲用水供給施設、問寒別地区道営畑総事業。平成25年度事業、町道問寒別9号線、町道問寒別20号線改良事業、問寒別小中学校体育館トイレ改修、個別排水処理施設整備4事業を追加。

○町道中間寒8号線道路改良事業の確定に伴う変更。

○新たに24年度事業で飲用水供給施設、問寒別地区道営畑総事業。平成25年度事業、町道問寒別9号線、町道問寒別20号線改良事業、問寒別小中学校体育館トイレ改修、個別排水処理施設整備4事業を追加。

○町道中間寒8号線道路改良事業の確定に伴う変更。

○新たに24年度事業で飲用水供給施設、問寒別地区道営畑総事業。平成25年度事業、町道問寒別9号線、町道問寒別20号線改良事業、問寒別小中学校体育館トイレ改修、個別排水処理施設整備4事業を追加。

○町道中間寒8号線道路改良事業の確定に伴う変更。

○新たに24年度事業で飲用水供給施設、問寒別地区道営畑総事業。平成25年度事業、町道問寒別9号線、町道問寒別20号線改良事業、問寒別小中学校体育館トイレ改修、個別排水処理施設整備4事業を追加。

○町道中間寒8号線道路改良事業の確定に伴う変更。

○新たに24年度事業で飲用水供給施設、問寒別地区道営畑総事業。平成25年度事業、町道問寒別9号線、町道問寒別20号線改良事業、問寒別小中学校体育館トイレ改修、個別排水処理施設整備4事業を追加。

4千円とする。

●職員研修事業で90万3千円の減額となっているが、全ての研修を終えたのか。

●入札による単純な執行残。

●教育費の社会科副読本の制作費の減額要因と制作が今どこまで進んでいるのか。

●減額された要因は見積合わせによるもので、現在印刷会社で校正作業を行っている。

●高齢者生活支援事業で除雪サービスを行っているが、今年の大雪の中で増額されていないが。

●社会福祉協議会の事業で、契約に基づいて実施しているが、新年度は実績にに応じた契約にして行く。

●スポーツ公園の改修工事を行っているが、昨年暮れの大雪で工事に支障はなかったのか。また、もう少し早い時期に工事発注はできないか。

●改修工事については予定どおり終了している。工事の発注時期は、野球連盟等の要望もあるが、今後状況を見極めながら発注をしていく。

▽議案第4号

平成24年度幌延町立診療所特別会計補正予算 第2号

●新しい施設で快適に感じるが、夏などは病室がかなり暑苦しく風通しも悪いのでは。

●病室が南向きで、暖かいが、クーラー等はなく、強制換気によりできるだけ快適な環境にするように考えている。

▽議案第5号～第8号

平成24年度幌延町後期高齢者医療特別会計補正予算

平成24年度幌延町介護保険特別会計補正予算

平成24年度幌延町簡易水道事業特別会計補正予算

平成24年度幌延町下水道事業特別会計補正予算

▽議案第9号

幌延町まちづくり基本条例の一部を改正する条例の設定について

地方自治法の一部を改正する法律が公布され、町の総合計画の基本構想の法的な策定義務がなくなったが、町づくりの将来像を描くものであることから策定をし、

議会の議決を得るものとする。

▽議案第10号

幌延町職員特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の設定について

当直の看護師の他に、即座に召集し対応できる看護師の待遇改善を図る必要から、特殊勤務手当制度を改正する。

▽議案第11号

幌延町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の一部を改正する条例の設定について

障害者の自立支援法の一部改正に伴い、文言の整理をする内容。

▽議案第12号

幌延町新規就農者支援に関する条例の設定について

意欲ある就農希望者を募り、就農者の経営安定の促進及び本町酪農の持続的発展を図ろうとするもの。

●就農者の誘致促進をどのようにPRしていくのか。

●北海道酪農担い手センターと連携し、ホームページ等でPRをしていく。

▽議案第13号

幌延町暴力団の排除条例の設定について

▽議案第14号

幌延町新型インフルエンザ等対策本部条例の設定について

平成21年に発生した新型インフルエンザの経験を踏まえ町は対策本部を設置。●本部の体制は。●町長が当たる。

▽議案第15・16号

幌延町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について

幌延町指定地域密着型介護予防サービスの人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の設定について

一括法の改正の関係で介護保険法が改正され、市町村がそれぞれ条例で設定しなければならない。

▽議案第17号
幌延町営住宅条例等の一部を改正する条例の設定について。

▽議案第18号

幌延町道路の構造の技術的基準等を定める条例の設定について

本条は道路の車線数、幅員、設計速度、曲線半径、歩道の構造、工作物の構造等、技術的基準を定める。改良中の路線は従前の基準の適用。

▽議案第19号

幌延町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例

▽議案第20号

幌延町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の設定について
地域主権一括法の公布による。

▽議案第21号

幌延町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の設定について

▽議案第22号

幌延町公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の設定について

▽意見案第1号

平成25年度地方財政対策 に関する意見書

国の地方財政政策は、市町村が行財政を運営する上で重要で、信頼性・客観性・透明性・安定性が求められる。財源調整機能及び財源保障機能を無視している。

▽意見案第2号

自治体財政の確保と地方 分権の確立を求める意見書

地方の固有財源である地方交付税を減額した。自治体の自由裁量枠を著しく制限するだけでなく、地方分権を否定する行為である。

▽意見案第3号

TPP交渉参加断固阻止 に関する意見書

我が国の農林水産業や山漁村に壊滅的な打撃を与え、我が国の食料安全保障を根底から揺るがし、食料自給率を低下させて、地域経済・地域社会の崩壊を招く恐れがある。



常任委員会報告

■総務文教常任委員会

▽平成25年1月18日

①低温ナチュラルチーズに係る特許の審査請求について

《町からの報告》

特許権取得の可否を検討するため1年間繰り延べ、低温ナチュラルチーズの事業化計画を提出するよう周知していたが、町民から計画提出はなかった。

町長以下、担当者らで特許権取得について協議し、取得しないことにした。

《質疑応答》

問 特許審査を請求しないというが、今後この件はどういう形になるのか。

答 特許の出願を取り消したと見なされる。既に特許の出願については公表されているので、誰でも事業化できる。

■総務文教常任委員会

▽平成25年2月26日

①家庭用LED照明等購入費補助金について

《町からの説明》

① 4月1日から3月31日までの一般家庭用LED電球、LED照明器具の購入費を補助する。

② 町内店舗から購入する。町税を滞納している者がいない世帯。

③ 補助率2分の1、補助金2万円を上限とする。

④ 商工振興会発行の商品券を交付する。

《質疑応答》

問 照明器具の市販価格はどのくらいか。

答 2万3千円から4万5千円程度。

問 補助率、補助金の根拠は何か。

答 平均4万円くらいで、今の照明器具を取り換えれると思いい設定。

問 2世帯住宅はどうなるのか。

答 基本的には住民基本台帳上で確認する。

②幌延町住宅用太陽光発電設置費補助金について

《町からの説明》

① 国の住宅用太陽光発電導入支援補助金の要件に適合していること。

② 国の補助金申込み受理決定していること。新たに発電システムを設置する者。

③ 補助金額は、発電システム1kW当たり12万5千円で、限度額を50万円とする。

《質疑応答》

問 工事費はどの位か。

答 1kW当たり工事は40万円から50万円。

問 4kWで全部売電した場合、どの位の額になるのか。

答 住宅用太陽光発電は、自家消費を超えた部分を買収する形となり、単価は1kW当たり42円。来年度の価格は未定。

問 再生エネルギーという形の補助金なのに、なぜ太陽光だけに絞ったのか。

答 割と設置しやすいから。

問 補助金の額は上げるべきでないのか。

答 1kW当たり12万5千円は全道トップクラスの単価。

③幌延町木造住宅耐震・バリアフリー改修事業補助金の制度について

《町からの説明》

① 耐震診断し、耐震改修工事をするのがメイン。それと併わせてバリアフリー工事を行い、その部分について補助する。

② 対象住宅は昭和56年5月31日以前に建築又は着工された住宅で、共同住宅も可

③ 補助額は、専用住宅では2分の1、限度額1百万円。これにバリアフリーの部分50万円上乗せし、1百50万円とする。

《質疑応答》

問 身体障害者の方がトイレ面積が必要となる場合、改修は対象となるか。

答 対象にならない。

問 なぜバリアフリーに特化したのか。

答 避難のためのリフォームは何かを考えたら、バリアフリーだった。

■産業厚生常任委員会

▽平成25年2月26日

①幌延町認定子ども園(仮称)について

《町からの報告》

これまで委員会で説明してきたことに関して、大幅に変更した点はない。

建物の形状については管理のし易さや費用等を考慮して検討を進めて行くが、病院跡地利用の観点から色合いの工夫やフェンス部分に工夫をするなどの配慮をしながら建設に当たりたい。また、メンテナンス部分に負担とならないような対策をしながら、設備をして行きたいと考えている。

《質疑応答》

問 建設に係る費用はどれくらいか。

答 電気、機械設備を含めると、3億9千万円を予定。

② 幌延町心身障がい者(児)等通院(所)交通費助成事業について

《町からの報告》

心身に障がいを持った方にとって、町内に専門の医療機関がないことから、町外の通院に係る交通費を助成することにより、経済的負担の軽減を図る。

対象者は、①腎機能障害で人工透析を受けている。②自律支援法に基づく医療を受けている。③特定疾患、小児慢性特定疾患による医療受給者。④障がい者通所

サービス利用者。⑤療育手帳の交付を受けている。受けていなくても早期の療育が必要な児童。

助成額は、J・R等の公共交通機関の運賃割引や、北海道が実施する助成を除外した2分の1を助成する。

申請から助成金を受け取るまでの流れは、受診した際に医療機関等に通院証明を依頼し、発行された証明書を添付して交付申請を行う。町は、申請内容を審査し、交付決定を行った後、指定された口座に送金する。

サークル紹介

『となかいっこクラブ』を訪ねて



会長
室田 智子

「会長さんから一言」

となかいっこクラブは平成23年12月から、就学前の幼児とそのお母さんが「遊び」を通して他の親子との交流を深めることを目的として発足しました。

議会の動き

- 1月18日 ▶ 第1回総務文教常任委員会
第1回全員協議会
- 1月22日 ▶ 第35回議会報発行特別委員会
- 1月24日～25日 ▶ 宗谷町村議会議長会総会(稚内市)
- 2月22日 ▶ 北留萌消防組合議会(羽幌町)
- 2月25日 ▶ 西天北五町衛生施設組合議会
- 2月26日 ▶ 第1回議会運営委員会
第2回総務文教常任委員会
第1回産業厚生常任委員会
第2回全員協議会
- 3月8日 ▶ 第2回議会運営委員会
- 3月11日～13日 ▶ 第1回定例会
- 4月2日 ▶ 第2回産業厚生常任委員会
第3回全員協議会
第36回議会報発行特別委員会
- 4月9日～10日 ▶ 宗谷管内議会議長会総会(稚内市)
- 4月10日 ▶ 第37回議会報発行特別委員会



昨年度は、ひな飾りやこのぼり等季節に合わせた工作をしたり、「ふるさとの森」や総合体育館で元気いっぱい体を動かしたり、子どもたちの大好きな紙芝居や絵本の読み聞かせを行いました。また、クリスマスには、お母さんたちによるパネルシアターなどの出し物をして、親子で一緒に楽しめる会をモットーに活動しています。

今年度は親子10組でスタートし、生涯学習センター



研修室にて楽しく活動しています。見学・入会は随時受付中です。まずはお気軽にお問い合わせください。

編集にあたって

私たちの議会報編集委員会も第72号の発行をもって、その任期を終えることになりました。町民の皆様には、少しでも早くわかり易くお知らせできればと努めてきました。2年間ご愛読いただきありがとうございます。次号からは新しい委員が担当しますが、今後とも宜しくお願いいたします。



編集委員長 西澤 裕之
副編集委員長 佐々木 忠光
編集委員 植村 敦
無量谷 隆